

伝統的に使用されてきた**かぜ・健胃**から、
最新知見の**糖尿病・メタボ**まで幅広い用途で注目度上昇！

ケイヒ *Cinnamon Bark*



ケイヒ Cinnamon Bark

概 要	ケイヒは、古代より世界各地で伝統医療や香辛料に利用されてきました。漢方医学では血流をよくすることで、発汗を促して熱を下げたり、痛みを鎮めたり、体を温める効果があるとされ、かぜ、頭痛、身体痛、胃の働きが低下したものなどに対する処方に配合されてきました。日本薬局方や中国薬典には、ケイ（シナニッケイ：Cinnamomum cassia）の樹皮が規定されています。香辛料のシナモンには、主にケイやシナモン（セイロンニッケイ：C. verumまたはC. zeylanicum）の樹皮、ニッケイ（ニッキ：C. sieboldii）の根皮が用いられており、食品としても欠かせない素材です。日本ではニッキ飴や八つ橋などのお菓子での利用がよく知られています。最近では、糖尿病に対する臨床研究も多数報告されており、2015年には一般用医薬品のケイヒ末の単味製剤に「糖尿病」の効能・効果が認められました。「糖尿病」の効能を持つ一般用医薬品はほとんど無いことから、医薬品分野においても注目を集める素材になっています。
基 原	Cinnamomum cassia（クスノキ科）
使用部位	主に樹皮、枝が用いられています。
食薬区分	ケイの根皮、樹皮、小枝、若枝は「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）リスト」に掲載
主な成分	cinnamaldehyde、cinnamic acid、procyanidin oligomer、coumarinなど
臨床研究	糖尿病に対する効果が報告されています。
薬理研究	糖尿病、肥満・メタボリックシンドロームに対する作用の他、冷え、インフルエンザ、胃粘膜障害などの漢方的な用法に関する作用が報告されています。
安全性	AHPA（米国ハーブ製品協会）による分類 クラス2b：専門家（医療従事者）による特別な指示がない限り、妊娠中に使用しないハーブ 漢方製剤、健胃薬などや香辛料としても広く使用されており、適切に使用すれば安全と考えられますが、妊婦は使用しないでください。 有害事象：発疹などのアレルギーを起こすことがあります。特にシナモンアレルギーの方は使用しないでください。

製品ラインナップ（食品原料）

製品名	ケイヒ末F（殺菌）
一般名称	ケイヒ末
最終製品での推奨原料表示名	例）ケイヒ末
成分または組成	本品は、Cinnamomum cassia（Lauraceae）の樹皮又は周皮の一部を除いたものを粉末としたもの
形 状	粉末
分 類	食品原料
1日最大摂取量	3g
包装単位	10kg

※本資料は、一般消費者の方に対する情報提供を目的としていません。また特定の商品の効果効能をうたうものではありません。

各種製品に関するお問い合わせは…

天然物を科学し、創意工夫する。
 **松浦薬業株式会社**

〒466-0054
 愛知県名古屋市中昭和区円上町24番21号
 E-mail：info@matsuura-gp.co.jp

松浦薬業 原料情報 検索

TEL (052) 883-5151